

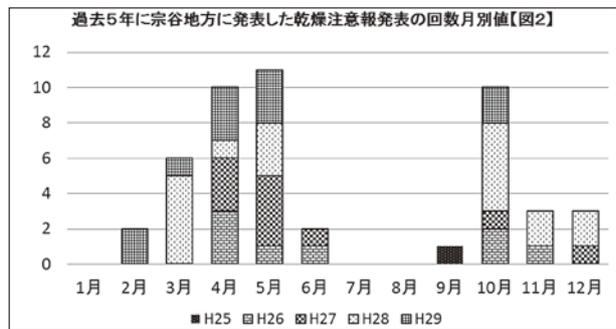
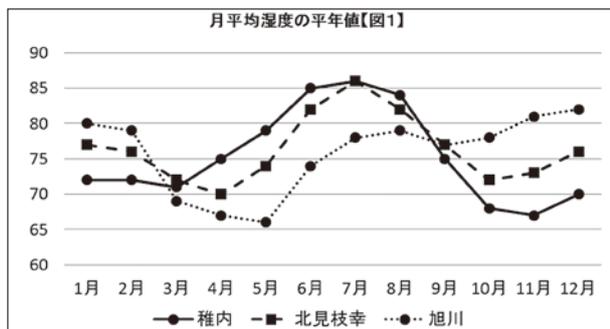
## 火の取り扱いに注意しましょう

これからの季節、火災に注意が必要です。

空気の湿り気を「湿度」と言い、気象台はこの観測を行っています。図1は稚内・枝幸・旭川の月平均湿度の平年値で、他の時期に比べ春と秋の湿度が低いことがわかります。

また、気象台では空気の乾燥により火災が発生する恐れがあると予想したときに「乾燥注意報」を發表します。乾燥注意報は、一日のうち最も低い湿度を示す「最小湿度」と、木材の乾燥具合を示す「実効湿度」が基準を下回る場合に發表し、宗谷地方ではその基準を「最小湿度30%、実効湿度60%」としています。図2は稚内地方気象台が過去5年間に發表した乾燥注意報の月別回数で、これも春と秋が多くなっています。

これからの季節、レジャーや仕事で屋外に出ることも多くなりますので、風が強い日を含めて、屋外での火の取り扱いには十分注意しましょう。



お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

## 地域おこし協力隊通信

vol.29

幌延で3回目の冬。大雪だったという印象はなかったものの、積雪はずいぶん多かったですね。トナカイ牧場の中の通路に面した柵が完全に埋もれてしまうほどの雪でした。

雪解けが進むと、ビジターセンター周辺は牧草地にまで池・湖？が出現し、一帯がサロベツ湿原化していました（今年の牧草の生長が心配）。いたるところで白鳥、オオワシ、ミコアイサなどの鳥を簡単に見ることができ、そんな自然環境をもっていることは幌延の大きな財産だと思います。そういった環境を守っていく必要を強く感じています。

関東の方では雪の降った日は多かったものの、3月から暖かい日が多く、桜の開花は例年に比べ1、2週間ほど早く、3月下旬に満開を迎えた桜は4月にはすでに新緑に。毎年4月の最初の週末ときめている商店街の桜祭りでは、主催者や花見客から葉桜状態の桜並木に嘆息が聞こえたと新聞記事にありました（桜祭り、後の祭り！）。



牧草地の野鳥たち

協力隊では今年もテシオコザクラやホタルなど自然の観察会を予定しています。気候・天候に注意しながら、「後の祭り」にならないよう、状況に応じて軌道修正しながら行っていこうと考えています。

地域おこし協力隊 丸田